

岩村田小学校改築基本設計について

1 学校づくりの考え方

岩村田小学校の改築については、同小学校からの分離新設校である（仮称）佐久平浅間小学校づくりのコンセプトに基づき、「地域の伝統を受け継ぎ、ともに育ち学び合う学校」を基本に、同小学校の改築が、現地改築であることから、次に掲げる事項に留意して基本設計をまとめました。

岩村田小学校改築の留意事項

- (1) 工事期間中の学習環境に配慮した施設整備
- (2) 周辺住民の皆さんに理解の得られる施設整備

2 主な特徴

(1) 学級枠を超えた学習活動ができる施設等

- ① 学年ユニットのづくり・・・同一学年を同じ階にし、学年の一体感を重視した配置
- ② ワークスペースの設置・・・普通教室の廊下を広くし、多様な学習を可能とする
- ③ 普通教室の利活用・・・各学年に1教室 普通教室を多目的教室として活用できる仕様とし、個別学習・学年全体学習等で活用
- ④ 多目的ホールの設置・・・多様な集会・交流活動、軽運動等ができるホール
- ⑤ 遊びのスペースの設置・・・低学年用遊具の設置、屋外広場としての活用

(2) 学習センター機能を有する施設

- ① メディアセンターの設置・・・学校の中心的位置へ図書室・PC教室を配置し、調べ学習を進めるために図書室とコンピュータ室を連携させ、一体感を持たせる
- ② 広い学習スペース・・・1学級以上が図書室で授業ができるスペース設置
- ③ 展示スペース・・・図書室で地域の文化遺産等展示し、学習意欲の喚起
- ④ 読み聞かせスペース・・・図書室で読み聞かせ等、本に親しむ環境スペース
- ⑤ 情報活用機能・・・図書室におけるコンピュータ利用

(3) 自然環境を生かした施設

- ① 緑地の設置・・・緑地の効用や自然学習環境としての役割
- ② 太陽光発電の設置・・・クリーンエネルギーとエコロジー教育の実践平屋建て校舎の屋上に太陽光パネルを設置し、屋上での学習の場を可能とする

(4) 地域開放に配慮した学校施設

- ① 体育館と校庭の設置と活用・・・社会体育として使いやすい配置と活用
- ② 多目的ホールの設置と活用・・・地域の人々と児童との交流活動
- ③ 災害時の学校施設開放・・・体育館、多目的ホール、校庭等の避難拠点としての活用

(5) 安全に配慮した学校

- ① 歩車道分離通路の確保・・・正門から児童専用通路の確保

3 児童数等の推移

(1) 岩村田小学校児童数の推計

平成25年5月1日現在

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
児童数	1,071	1,056	593	572	582	569	560
学級数	36(3)	36(3)	21(2)	20(2)	21(2)	21(2)	21(2)

※35人学級で推計。特別支援学級児童は内数。()内は、特別支援学級数。

(2) (仮称)佐久平浅間小学校児童数の推計

平成25年5月1日現在

年度	H27	H28	H29	H30	H31
児童数	490	508	554	588	624
学級数	18(2)	19(2)	21(2)	22(2)	23(2)

※35人学級で推計。特別支援学級児童は内数。()内は、特別支援学級数。

4 構造・規模等

- (1) 校舎棟 RC造3階建、延べ床面積 約8,500㎡（必要面積 6,616㎡）
- (2) 屋内運動場 SRC平屋建、延べ床面積 約1,400㎡（必要面積 1,258㎡）
- (3) グラウンド 面積 約6,800㎡
- (4) 駐車台数 約60台（校内32台、校外28台）

5 改築スケジュール

平成25年度～26年度 基本設計・実施設計

平成27年度～31年度 建築工事・外構工事・グラウンド整備・解体工事